

II - 9 有機農業への参入・定着の促進 ①【有機導入の手引き】

- 有機農業への参入促進に関する情報提供や研修会を開催。

■「有機導入の手引き」シリーズ(大豆編・小麦編・水稻編)

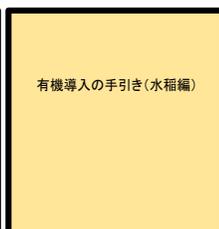
新規参入者の有機農業への取組や、慣行農業者の有機栽培に転換を図る際の具体的な情報として、先進農家の有機栽培事例などをもとに、有機導入のポイントや有機JAS取得に必要な情報をまとめた手引きを作成するとともに、セミナーを開催。



平成30年3月作成



平成31年3月作成



令和2年3月作成

■有機農業への転換の手引き

慣行栽培の農業者が国際水準(有機JAS水準)の有機栽培に取り組むに当たって、有機農産物の日本農林規格及び認証の技術的基準に基づく、有機JAS認証取得への手続き、各種記録の簡素化、使用禁止資材に該当しない資材評価、有機転換事例など必要な情報をまとめた手引きを作成するとともに、セミナーを開催。



令和3年3月作成

- 全道7地区で有機生産者等のネットワーク化を図り、各地域で技術研修会や有機JAS講習、消費者との交流などの活動を支援。
- 有機農業ネットワーク全道交流会では、地域を越えた有機農業者の交流や情報交換等を推進。

■各地域の有機農業ネットワーク組織

<主な活動>

- 研修事業等
 - ・研修会(現地視察研修、有機JAS取得促進研修 等)
 - ・情報交換会(生産者との意見交換会、有機技術発表会)
- 消費者との交流事業等
 - ・収穫体験交流会
 - ・有機農産物等を使用した料理試食会
 - ・消費者協会と連携したPR販売会
 - ・有機農産物の直売 等



全道交流会の内容は次のページ

II - 10 有機農業への参入・定着の促進 ②【ネットワーク】

■ 有機農業ネットワーク全道交流会

平成30年度 開催概要

日時：平成31年2月25日(月)
場所：かでの2・7(札幌市)
参加者：92名



ネットワーク活動事例発表



事例発表に伴う意見交換等



- 1 事例発表
 - ア テーマ「かみかわ有機農業ネットワークの取組について」
上川農業改良普及センター 主査(情報・グリーン・有機) 小山 拓也 氏
 - イ テーマ「オーガニックメロン小規模栽培の強み」
ウエダオーチャード 上田 聡 氏
 - ウ テーマ「オホーツク有機農業ネットワークの取組について」
網走農業改良普及センター 主査(情報・グリーン・有機) 浅田 洋平 氏
 - エ テーマ「有機加工食品認定取得から地域商品開発の取組」
合同会社 大地のりんご 代表社員 道山 マミ 氏
- 2 全体質疑応答・意見交換
コーディネーター 地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部
中央農業試験場 病虫部長 堀田 治邦 氏
- 3 情報提供
 - ア 有機導入に向けた技術の組立て～有機農家にみる小麦の有機栽培～
NPO法人北海道有機農業研究協議会 専門委員 中野 長三郎 氏
(事例)有機小麦栽培の取組 2018
株式会社 斎藤農場 代表取締役社長 斎藤 正志 氏
 - イ 有機JAS認証とGAPガイドラインとの差分審査について
NPO法人北海道有機認証協会 副理事長 武内 智 氏

令和2年度 開催概要

日時：令和3年3月19日(金)
場所：第2水産ビル(札幌市)
参加者：103名



ネットワーク活動事例発表



事例発表に伴う意見交換等

- 1 事例発表
 - ア テーマ「十勝有機ネットワークの取組について」
十勝農業改良普及センター 主査(情報・グリーン・有機)中川 涼子 氏
 - イ テーマ「いずみ農園における有機農業の取組(学校給食等)について」
いずみ農園 泉 吉廣 氏
- 2 セミナー
テーマ「新たな販路拡大 ～オンラインマルシェについて～」
株式会社 ポケットマルシェ 生産者/CS部 部長 中山 拓哉 氏
- 3 情報提供
 - ア 「有機農業への転換の手引き」について
NPO法人北海道有機農業研究協議会 事務局長 山本 毅 氏
 - イ 有機農業の推進に向けて
環境保全型農業直接支払交付金制度について
北海道農政部食の安全推進局食品政策課
- 4 全体質疑応答・意見交換

II - 11 有機農業を核とした新たな展開

- 有機農業を、移住・定住施策や農村活性化に活かそうとする地域と連携し、有機農業経営に係る実践的な情報として経営指標(事例)を作成。当該地域で活用するとともに、他地域にも提供。
- 教育機関と連携して、後継者への有機農業に対する理解醸成を促進。

■ 経営指標(事例)の活用

安平町有機農業推進協議会の有機農業者の協力のもと作成。

当該地域で活用

道HPや公益財団法人北海道農業公社、各市町村に提供

- 新規就農フェアへの参画
- 新規就農相談

道 市町村

担
い
手
セ
ン
タ
ー

担
い
手
担
当
部
署

新規参入者

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/yuki/kensyuutouroku.htm>

■ 教育機関と連携した理解醸成

八紘学園
(札幌市)

道立農業大学校
(本別町)

★テーマ「有機農業をめぐる情勢について」講義★

日 時：令和元年12月10(火)
参加者：38名(生徒)

内 容
「有機農業」や
「北海道にお
ける有機農業
の現状と推進
取組」につい
て講義。



日 時：令和3年2月1(月)
参加者：20名(生徒)

内 容
「有機農業」や
「北海道にお
ける有機農業
の現状と推進
取組」につい
て講義。



後継者への有機農業に対する理解醸成を促進

II - 12 販路の確保

- 安定的な販路を確保するため、希望する生産者が販売可能な品目や時期、数量などを情報発信。
- 安定的な販路の確保に向けて、生産者と流通・販売事業者等の商談(マッチングイベント)を実施。

■ 有機農産物等の販売情報等一覧(令和2年12月現在)

振興局		市町村	名称又は氏名 (農場名)	販売可能な農産物等	種別	頁
空知-1	岩見沢市	(株)JAKE	リーフレタス、調味	○	1	
空知-2	岩見沢市	河端農園	たまねぎ	○	2	
空知-3	岩見沢市	栗沢あおぞら農園	かぶ、ばれいしょ	○	3	
空知-4	滝川市	(有)ノザワ農場	たまねぎ	○	3	
石狩-1	札幌市	(株)ブルーベリー さっぼろ	ブルーベリー	○	3	
石狩-2	札幌市	ヴェール農場	にんじん	○	3	
石狩-3	札幌市	ピーマイ倶楽部	ピーマン	○	3	
石狩-4	札幌市	中央設備工業(株)	赤ピーマン	○	3	
石狩-5	千歳市	はるか農園	ケール	○	3	
石狩-6	千歳市	かねこ農園	カリフラワー	○	3	
石狩-7	千歳市	(株)箱根牧場	ばれいしょ	○	3	
石狩-8	当別町	すがむら農園	ミニトマト	○	3	
石狩-9	新篠津村	オーガニック農場 森田くん家	ミニトマト	○	3	
渡島-1	函館市	くまさんファーム	ブロッコリー	○	3	
渡島-2	北斗市	ソーシャル・エイ ジェンシー(株)	ブロッコリー	○	3	
渡島-3	森町	(株)みよい	かぶ	○	3	
上川-1	士別市	(有)藤田農園	ばれいしょ	○	3	
上川-2	上富良野町	ビーバーファーム 北川	小豆	○	3	
上川-3	上富良野町	Nishio Farm	にんじん	○	3	
上川-4	上富良野町	トカプチ(株) カミフラノイ農場	にんじん	○	3	
宗谷-1	豊富町	田中牧場	ばれいしょ	○	3	
林-1	津別町	(有)矢作農場	にんじん	○	3	
林-2	大空町	(株)大地の MEGUMI	ばれいしょ	○	3	
十勝-1	帯広市	(株)やぶ田 ファーム	にんじん	○	3	
十勝-2	帯広市	とききるファーム	パプリカ	○	3	
十勝-3	清水町	(有)あすなる ファーム	パプリカ	○	3	
十勝-4	芽室町	遠藤農園	にんじん	○	3	

整理番号	名称	所在地 (又は住所)	電話番号	FAX番号	E-mail
空知-1【有機JAS】	株式会社JAKE	〒068-0846 岩見沢市下志町24-11	0126-26-3340	0126-26-3340	a.0@jake-i.com

販売品目(作物名)	品種等	令和3年度 販売可能量	取扱時期	有機JAS 取得可否	備考
リーフレタス	(近藤)グリーンウェーブ、レッドファイヤー	5,000 kg	1月～12月	○	
調味(有機種子実コーン)	PG025	20,000 kg	11月～10月	○	

【生産者からのメッセージ】
弊社は、15haの農地で有機JAS認証を取得しております。そのうち施設栽培が21aあり、品目にもよりますが周年栽培が可能で、ある程度計画生産ができます。これまでの栽培実績は、有機中玉トマト、有機ベピーリーフ、有機リーフレタス、有機エディブルフラワーを栽培していました。有機リーフレタスの周年出荷は日本でも、数少ない生産体系です。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/yuki/kensyuutouroku.htm>

■ マッチングイベントの実施

平成29年度 開催概要



日時: 平成29年8月21日(月)～8月23日(水) 3日間
 場所: 札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)北3条交差点広場
 参加者: 生産者等 8団体 実需者 3団体
 内容: ・生産者と消費者や実需者を結びつけるマッチングイベント
 ・パネル展による有機農業・有機農産物の情報発信

平成30年度 開催概要



日時: 平成30年8月20日(月)～8月22日(水) 3日間
 場所: 札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)北大通交差点広場
 参加者: 生産者等 7団体 実需者 2団体
 内容: ・生産者と消費者や実需者を結びつけるマッチングイベント
 ・パネル展による有機農業・有機農産物の情報発信

平成31年度 開催概要



日時: 令和元年8月31日(土)～9月1日(日) 2日間
 場所: 札幌駅前通地下歩行空間(チカホ)北3条交差点広場
 参加者: 生産者等 5団体 実需者 2団体
 内容: ・生産者と消費者や実需者を結びつけるマッチングイベント
 ・パネル展による有機農業・有機農産物の情報発信

日時: 令和元年11月15日(金)～11月16日(土) 2日間
 場所: 札幌ファクトリーアトリウム&ファクトリールーム
 参加者: 生産者等 5団体 実需者 31団体
 内容: ・生産者と消費者や実需者を結びつけるマッチングイベント
 ・パネル展による有機農業・有機農産物の情報発信

II - 13 理解の醸成

- 消費者の理解を醸成する有機農業パネル展や体験会等を開催。
- 有機農業ネットワークでは、生産者が主体となった消費者向けイベントを開催。

■ 各振興局における有機農業ネットワーク活動

かみかわ有機農業ネットワークの活動 ～ランチ会～

《開催の概要》

日 時: 令和元年11月26日(火)
場 所: つくし幼稚園(旭川市)
参加者: 14名(幼稚園児保護者ほか)



《取組の内容》

かみかわ有機農業ネットワーク会員が生産した有機農産物を使用したお弁当を試食するとともに、会員から有機農業の取組について説明を行い、消費者への理解を醸成。

道南有機農業ネットワークの活動 ～マルシェ～

《開催の概要》

日 時: 令和2年9月6日(日)
場 所: 函館蔦屋書店(函館市)
参加者: 15名(出店者ほか)
購入者数: 約150人



《取組の内容》

道南有機農業ネットワーク会員が消費者との交流を図り、有機農産物のおいしさや魅力を発信するマルシェ。

■ 本庁主催による有機農業普及活動

十勝有機ネットワークの活動 ～そば打ち体験～

《開催の概要》

日 時: 令和2年1月26日(日)
場 所: とから大平原交流センター(帯広市)
参加者: 41名(一般消費者31名ほか)



《取組の内容》

十勝有機ネットワーク会員が生産した有機農産物を使用したそば打ち体験を実施し、消費者への理解を醸成。

オーガニック学習会&料理教室

《開催の概要》

日 時: 令和3年10月30日(土)
場 所: 札幌エルプラザ(札幌市)
参加者: 22名(一般消費者ほか)



《取組の内容》

有機農業生産者による取組説明などの「学習会」や「有機農産物を利用した料理体験」を通じて、消費の理解醸成を図るとともに、有機農産物の購買意欲を高め、需要を喚起。

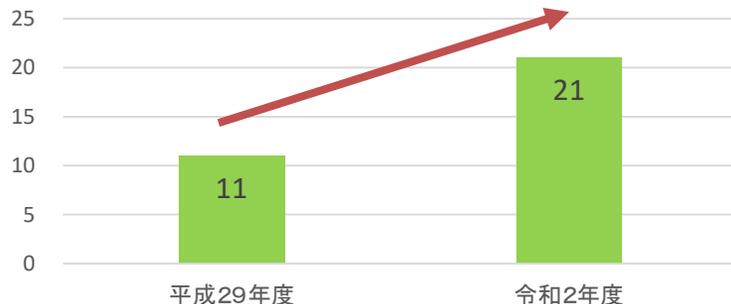
II - 14 学校給食における有機食品の利用状況について

- 令和2年度の北海道における学校給食に有機食品を利用している市町村は、平成29年度から倍増。
- 有機食品の主な品目は、米、たまねぎ、にんじん、じゃがいもとなっている。

■ 有機食品を利用している市町村数

振興局別	平成29年度	令和2年度	増減
空知管内	0	2	2
石狩管内	2	3	1
胆振管内	1	1	0
渡島管内	0	1	1
上川管内	3	4	1
宗谷管内	1	0	-1
オホーツク管内	3	4	1
十勝管内	1	5	4
釧路管内	0	1	1
合計	11	21	10

取組市町村数



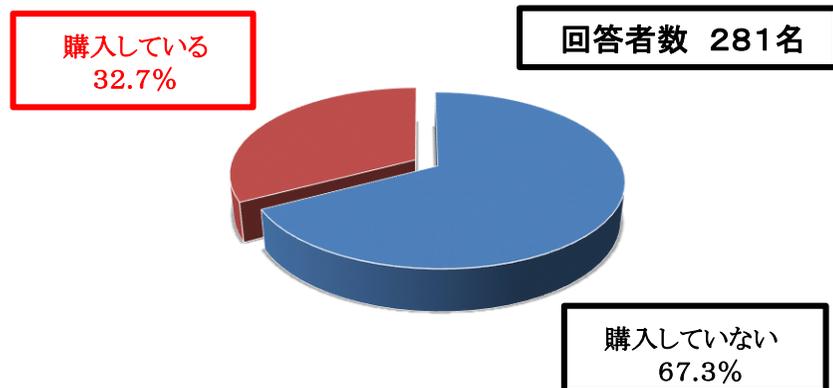
■ 取組市町村と主な品目(全体に占める割合) (R2年(2020))

- 【空知管内】
 - 新十津川町 米(0.8%)
 - 雨竜町 米(0.8%)
- 【石狩管内】
 - 北広島市 にんじん、じゃがいも(1割程度)
 - 当別町 じゃがいも、きゅうり、トマト、アスパラ(1割程度)
 - 新篠津村 たまねぎ、にんじん、じゃがいも(全量)等
- 【胆振管内】
 - 安平町 にんじん(約10%)、じゃがいも(約8%)等
- 【渡島管内】
 - 福島町 にんじん、じゃがいも(2割)、しいたけ(全量)
- 【上川管内】
 - 士別市・和寒町 つるむらさき(全量)、おかわかめ(全量)等
 - 当麻町 たまねぎ、にんじん、ジャガイモ等(年数回)
 - 剣淵町 米(全量)、味噌(全量)、たまねぎ(概ね半分)等
- 【オホーツク管内】
 - 網走市 じゃがいも、長ネギ(1割以下)
 - 津別町 たまねぎ、にんじん、長ネギ(1割以下)
 - 興部町 有機牛乳(4日間)
 - 大空町 じゃがいも、アスパラガス(少量)
- 【十勝管内】
 - 帯広市 にんじん(34%)、たまねぎ(8%)等
 - 幕別町 たまねぎ(17.3%)、白菜、キャベツ(6.6%)等
 - 広尾町 十勝マッシュ水煮<加工品>(1割未満)
 - 士幌町 にんじん(6%)
 - 鹿追町 小松菜、水菜(2~3割)
- 【釧路管内】
 - 白糠町 じゃがいも(1回)

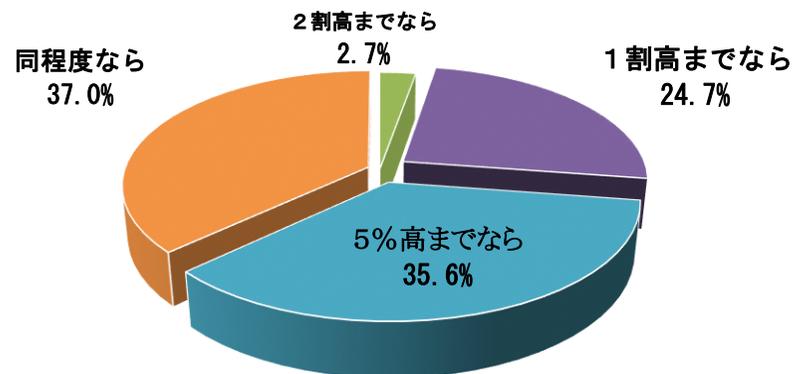
II - 15 消費者アンケート調査(1)

- 有機農産物を購入していると回答した消費者は32.7%。有機であっても低価格を求める消費者が多い。
- 有機食品の販路は量販店をはじめとして多様化している。

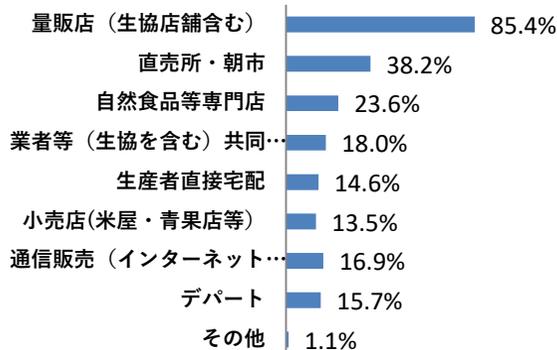
■ 有機農産物の購入



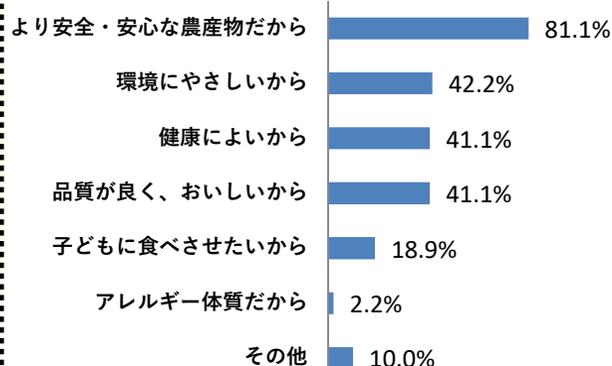
■ 一般農産物と比較しての有機農産物の購入価格帯



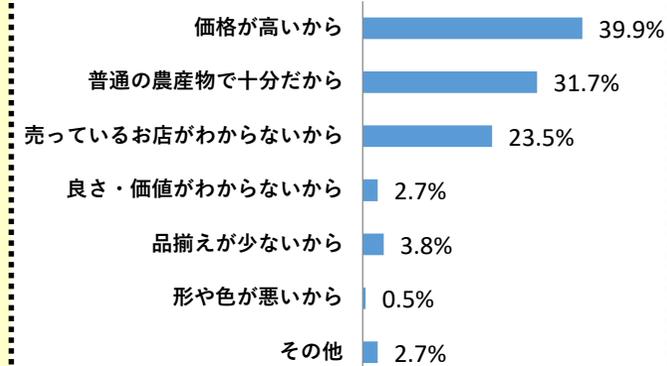
■ 有機食品の購入



■ 有機農産物を購入する理由



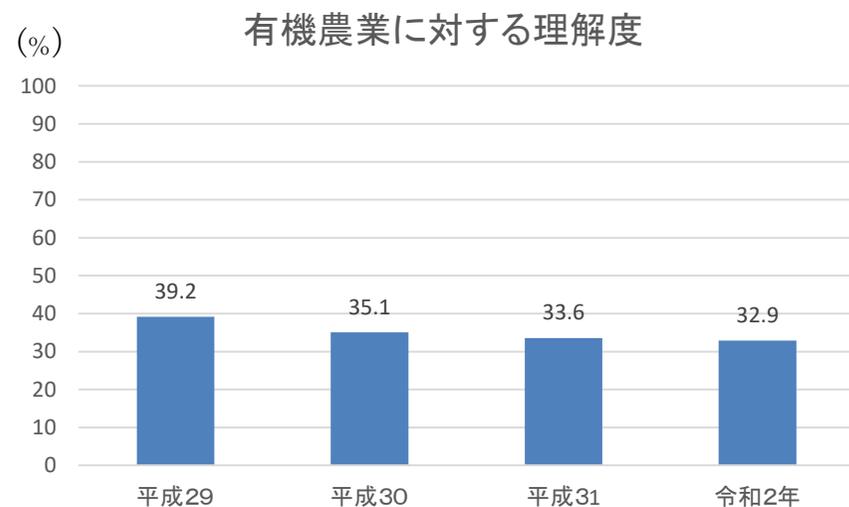
■ 有機農産物を購入しない理由



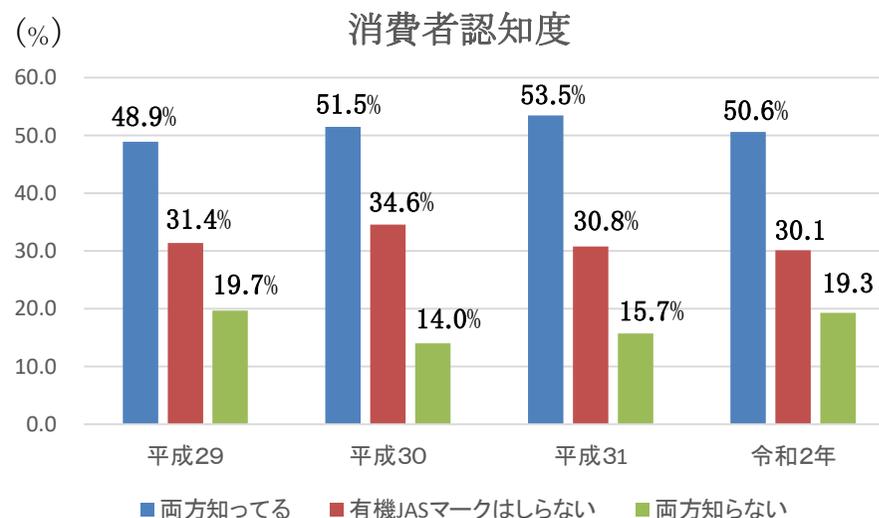
II - 16 消費者アンケート調査(2)

○ 有機農産物等・有機JASマークに対する認知度は約50%で推移している。一方「有機農業により生産された農産物」に対する理解度は、平成29年度39.2%、平成30年度以降はほぼ横ばいで推移しており、有機農業・有機農産物等の消費者への理解促進が必要。

■ 有機農業により生産された農産物に対する消費者理解度



■ 有機農産物等・有機JASマークに対する消費者認知度



【参考】有機農業推進法における有機農業の定義

有機農業とは、

①化学的に合成された肥料や農薬を使用しない

②遺伝子組換え技術を利用しない

ことを基本として、環境への負荷をできる限り低減する農業生産の方法を用いて行われる農業をいう。(法第2条)

【参考】有機JASマークについて(農林水産省ホームページより)

・有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認証機関が検査し、その結果認証された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。
 ・この「有機JASマーク」がない農産物と農産物加工食品に、「有機」、「オーガニック」などの名称の表示や、これと紛らわしい表示を付すことは法律で禁止されています。